

急性骨髄性白血病患者を対象としたDSP-2033 とシタラビン/ミトキサントロンの併用療法、又はDSP-2033 と7+3 レジメンの併用療法の第1 相臨床試験

当院では急性骨髄性白血病 (AML) と診断された方を対象に下記の治験を行っています。

●再発・難治性AMLの方

治験薬 (DSP-2033) +シタラビン+ミトキサントロン

●初発 (未治療) AMLの方

治験薬 (DSP-2033) +シタラビン+ダウノルビシン

●主な適格性基準

- ・ WHO 分類第4 版でAML と診断された日本人の方
- ・ 同意取得時の年齢が20 歳以上65 歳未満の方
- ・ 造血幹細胞移植などの移植治療歴のない方
- ・ 重複がんがない方 (無病期間が5年以上経過又は局所治療で治癒した上皮内・粘膜相当の病変は可能)
- ・ 登録時のアントラサイクリン系薬剤の累積総投与量がダウノルビシン換算で
再発又は難治性AMLの場合360 mg/m² (体表面積換算)、
初発AMLの場合100 mg/m² (体表面積換算) を超えない方

※上記以外にも適格性基準がございます。詳細はJAPIC CTIからもご覧いただけます。
(JapicCTI-183964)

詳しいご説明をお聞きになりたい方は下記までご連絡下さい。

福島県立医科大学附属病院

臨床研究センター TEL:024-547-1771

(平日9 時~17 時)

